

教育委員会事務の点検・評価  
(平成 23 年度分報告書)

野々市市教育委員会

## 目 次

<u>1</u>	<u>教育委員会事務の点検・評価について</u> .....	2
	(1) 趣旨.....	2
	(2) 対象年度.....	2
	(3) 実施方法.....	2
<u>2</u>	<u>教育委員会会議及び活動状況</u> .....	4
	(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議等事項.....	4
	(2) 教育委員会活動の概要.....	6
	(3) 自己評価.....	7
	(4) 学識経験者からの意見.....	8
	(5) 今後の方針.....	8
<u>3</u>	<u>事務事業所管課別点検評価</u> .....	9
	(1-1) 教育総務課所管事業.....	9
	(1-2) 学識経験者からの意見.....	24
	(1-3) 今後の方針.....	24
	(2-1) 学校教育課所管事業.....	25
	(2-2) 学識経験者からの意見.....	45
	(2-3) 今後の方針.....	45
	(3-1) 生涯学習課所管事業.....	46
	(3-2) 学識経験者からの意見.....	68
	(3-3) 今後の方針.....	68
	(4-1) 文化振興課所管事業.....	69
	(4-2) 学識経験者からの意見.....	86
	(4-3) 今後の方針.....	86
	(5-1) スポーツ振興課所管事業.....	87
	(5-2) 学識経験者からの意見.....	98
	(5-3) 今後の方針.....	98
<u>4</u>	<u>参考資料</u> .....	99
	(1) 野々市市教育委員会組織.....	99

# 1 教育委員会事務の点検・評価について

## (1) 趣旨

野々市市教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、住民への説明責任を果たし、住民から信頼される教育行政のさらなる推進を目指して、平成 23 年度分についての教育行政事務の点検・評価を実施しました。

これらについての成果や課題を確認することで、今後の施策改善に反映させるとともに、具体的なそして効果的な教育行政の一層の推進を図ることとします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

## (2) 対象年度

平成 23 年度に実施した教育委員会主管の主要な事務事業を点検・評価の対象とします。

## (3) 実施方法

① 教育委員が直接に関与し、また活動している事項と教育長に委任する事務に区分整理し、点検・評価を行いました。

② 教育長に委任する事務については、教育委員会事務局各課の主要事務事業を、81 項目の評価シートに抽出分類し、自己点検、自己評価を行いました。

自己評価については、評価シート毎に次のとおり 6 段階評価を行いました。

なお、今回より市行政評価との整合性を図るため、評価シートの様式を改めました。

【評価基準（6段階評価）】

評価	内 容
A	拡大・重点化
B	改善
C	継続
D	縮小
E	廃止・統合予定
F	終了・完了

【今後の展開】

評価	内 容
↗	事業規模の拡大
→	事業規模の維持
↘	事業規模の縮小
×	当該年度には実施していない

③ 上記により取りまとめた評価シートを「教育総務課」、「学校教育課」、「生涯学習課」、「文化振興課」、「スポーツ振興課」という5つの課の事業に分類し、項目毎に客観的視点を確保するため、学識経験を有し、本市の教育行政にご理解のある次の方々に依頼し、ご意見をいただきました。

また、このご意見や点検・評価に基づいた今後に向けた改善・改革すべき事項を「今後の方針」として取りまとめ項目毎に記載しました。

(50音順・敬称略)

氏 名	公 職 等
魚野 孝次郎	野々市市中央公民館館長 市行政改革推進委員会委員
岡田 實	元小学校校長 民生委員・児童委員
黒瀬 千代子	野々市市スポーツ推進委員
長田 正子	野々市市スポーツ推進委員

## 2 教育委員会会議及び活動状況

### (1) 教育委員会会議の開催状況及び審議等事項

野々市市教育委員会は、「野々市市教育委員会会議規則」第3条の規定に基づき、以下のように12回の定例会及び4回の臨時会を開催しました。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に規定される職務権限及び「野々市市教育委員会教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、以下のように審議しました。

教育委員会 会議開催日	定例会又 は臨時会 の別	議案番号	件名	報告 事項 件数
4月7日	臨時会	第8号議案	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度教育委員会関係委員の委嘱）	1件
4月26日	定例会		※報告案件のみ	12件
5月30日	定例会	第9号議案	平成22年度野々市町一般会計補正予算（専決処分）教育費関係について	10件
6月23日	定例会		※報告案件のみ	9件
7月15日	臨時会	第10号議案	平成24年度使用中学校用教科書採択について	1件
7月28日	定例会		※報告案件のみ	7件
8月29日	定例会	第11号議案	平成23年度野々市町一般会計補正予算（9月補正）教育費関係について	13件
9月28日	定例会	第12号議案	平成23年度野々市町教育委員会表彰被表彰者選考について	10件
		第13号議案	野々市町教育委員会規則の用字、用語等の整備に関する規則の制定について	
		第14号議案	野々市町立小学校及び中学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則について	
		第15号議案	野々市町教育委員会公印規則の一部を改正する規則について	
		第16号議案	野々市町を野々市市とすることに伴う野々市町教育委員会規則の整理に関する規則の制定について	
		第17号議案	野々市町教育委員会規程の用字、用語等の整備に関する規程の制定について	
		第18号議案	野々市町を野々市市とすることに伴う野々市町教育委員会規程の整理に関する規程の制定について	

10月3日	臨時会	第19号議案 第20号議案	野々市町教育委員会委員長選挙について 野々市町教育委員会委員長職務代理者の指定について	0件
10月27日	定例会		※報告案件のみ	5件
11月29日	定例会	第21号議案 第22号議案 第23号議案	平成23年度野々市市一般会計補正予算(12月補正)教育費関係について 野々市市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例について 野々市市体育施設条例の一部を改正する条例について	10件
12月16日	臨時会		※報告案件のみ	1件
12月27日	定例会	第24号議案	野々市市体育施設管理規則の一部を改正する規則について	8件
1月25日	定例会	第1号議案	児童生徒の認定就学について	5件
2月28日	定例会	第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 第7号議案 第8号議案 第9号議案 第10号議案 第11号議案 第12号議案	平成23年度野々市市一般会計補正予算(3月補正)教育費関係について 平成24年度当初予算(案)教育関係について 野々市市公民館条例の一部を改正する条例(案)について 野々市市立図書館設置条例の一部を改正する条例(案)について 野々市市スポーツ振興審議会に関する条例及び非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(案)について 野々市市体育指導委員に関する規則及び野々市市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則(案)について 野々市市体育指導委員に関する規程及び野々市市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程(案)について 野々市市体育施設条例の一部を改正する条例(案)について 野々市市体育施設管理規則の一部を改正する規則(案)について 野々市市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則(案)について 野々市市「教育ユニバーサルプラン」の策定(案)について	6件

3月27日	定例会	第13号議案 第14号議案 第15号議案 第16号議案 第17号議案	平成24年度教育目標について 平成24年4月1日付け職員異動内示について 野々市市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程(案)について 野々市市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則(案)について 野々市市教育センター条例施行規則の一部を改正する規則(案)について	7件
-------	-----	--	--	----

## (2) 教育委員会活動の概要

教育委員は、教育委員会議への出席の他、市議会や学校訪問、各種行事等に合計148回出席しました。

### ① 市議会関係 25回

- ・本会議、教育福祉常任委員会等への出席

### ② 学校訪問、学校行事 31回

- ・入学式、卒業式、学校計画訪問、学校公開、運動会等への出席

### ③ 会議、研修会 37回

- ・県市町教育委員会連合会等教育委員長・教育長会議等への出席

### ④ 各種行事 55回

- ・成人式、立志式、地区運動会等への出席

### (3) 自己評価

教育委員会は独立した教育行政の執行機関との認識の中、委員それぞれの目線から現状の課題や問題、また、推進すべき事項等を委員会会議で慎重に審議しました。

委員会会議については定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催し、主要案件等適切に事案を処理できたと思います。

教育委員会会議の状況については、市のホームページにその都度掲載し、委員会活動についての広報に努め、開かれた教育委員会に取り組んでおります。

学校教育においては、全小中学校長との個別懇談を実施し学校の運営方針や学校が抱える問題等について意見交換を行いました。

また、積極的に学校訪問を行い、児童生徒を見守るとともに授業参観や教職員のニーズを聴くなど直接各学校の状況を把握するとともに、管理職や主幹教諭・指導教諭等と懇談を行い児童生徒に対する教育的課題や教師の教育指導方法などについての提言等を行い学校経営の向上をめざしました。

社会教育においては、地区公民館の行事や教育委員会主催の講演会・スポーツ大会等積極的に出向き、地域の状況や市民が求めているものの把握に努め、検討事項等事務局へ提言しました。

また、去年は念願であった市制が施行され、市民・行政が一体となり新たな歴史を刻むことができましたことは大変喜ばしいことですが、市制となり教育委員会や教育行政に求められるものが益々大きくなっていくものと思われま

す。これに応えるべく教育委員会全体が意識改革を行い、それぞれにおいて質の高いものとしていく必要があります。

今後も、今まで培ってきたものを基礎として教育委員自らの自己研鑽を進めるとともに、高い教育効果を上げるべく課題に取り組んでいきたいと思



#### (4) 学識経験者からの意見

年間を通して数多くの会議や行事に出席参加をされており、委員各位の積極性と教育行政に対する熱意が感じられます。

特に、全小中学校長との個別懇談を実施して学校の運営方針や学校の抱える問題について意見交換をするなど、全市立学校について積極的に直接指導されており、教育委員会本来の活動として評価したいと思います。

また、学校訪問や地域の行事等を通して児童生徒を見守るとともに直接市民等の声を聴くなど、市民ニーズを教育行政に積極的に活かしていただきたいと思います。

施設面においては、老朽化に対する校舎の大規模改造、児童増による校舎の増築、冷暖房空調設備の設置、加えて小学校給食センターの建設等と大きな工事がここ数年継続して行われると思われませんが、財政負担も大きなものであり教育委員会として長期的展望に立ち、市当局と協議のうえ計画的に整備を推進し、児童生徒の教育環境の充実に努めてください。

委員会会議については、市ホームページにその会議内容が公表されておりますが、今後もより幅広く教育委員会の情報を発信していただきたいと思います。

#### (5) 今後の方針

平成 23 年度に策定しました教育ユニバーサルプラン（教育振興基本計画・平成 24 年度～33 年度）の基本目標である学校での教育の推進、家庭・地域社会での教育の推進、生涯学習の推進に向けて、基本的施策及びそれを達成するための事業を学識経験者等のご意見を踏まえ、市民ニーズに応えたものとなるよう教育委員会一体となって展開していきます。

また、市ホームページに掲載している教育委員会会議の概要について今後も迅速に掲載し、教育委員会活動について市民の理解を得るとともに、市民の皆様のご意見を施策に反映させていきます。

### 3 事務事業所管課別点検評価

#### ・(1-1) 教育総務課所管事業

1. 教育委員会組織運営事業
2. 教育委員会表彰事業
3. 一般事務
4. 小学校管理事業（各小学校執行分）
5. 野々市小学校整備事業
6. 事務局小学校管理費（教育総務課分）
7. 就学援助費（小中学校）
8. 特別支援教育就学奨励費（小中学校）
9. 富陽小学校増築・大規模改造事業
10. 小学校給食センター施設整備事業
11. 給食センター運営事業（小学校）
12. 中学校管理事業（各中学校執行分）
13. 事務局中学校管理費（教育総務課分）
14. 給食センター運営事業（中学校）

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4101	事務事業名	教育委員会組織運営事業			所管	部	教育文化部
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画 施策名	8 住み続けたい！をみんなの声でつくるまち【行財政運営】 3 安定した行財政運営の推進 4 教育委員会施策の推進と評価				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1)「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成					ソフト事業 単独事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 市教育委員6名(教育長を含む)	事業の目的	教育委員会の職務の遂行をするため					
事業の内容	教育委員の職務に対する報酬(非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例に規定されたもの)及び旅費。	平成23年度 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議</li> <li>・学校訪問</li> <li>・教職員との懇談</li> <li>・公民館やスポーツ等の地域活動への参加</li> <li>・先進地視察</li> </ul>					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	教育委員会の開催	回	14	16	16	14	
		学校訪問	回	24	27	31	24	
事業の コスト	事業費	区分	H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	2,223		2,625		2,284	
		事業費計 (A) (千円)	2,223		2,625		2,284	

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議</li> <li>・学校訪問</li> <li>・教職員との懇談</li> <li>・地域活動への参加</li> <li>・先進地視察 他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議</li> <li>・学校訪問</li> <li>・教職員との懇談</li> <li>・地域活動への参加 他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議</li> <li>・学校訪問</li> <li>・教職員との懇談</li> <li>・地域活動への参加</li> <li>・先進地視察 他</li> </ul>

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められており、適正に委員会の運営が行われている。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	教育委員会の活性化及び向上に向けて討議を深めたい。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4102	事務事業名	教育委員会表彰事業				所管	部 課	教育文化部 教育総務課
事業の概要	総合計画 施策名	0 該当なし						区分	自治事務
	教育振興基本計画 施策名								ソフト事業
	行政改革 推進項目	00 該当なし							単独事業
	実施根拠となる 分野別計画					根拠法令	事業の開始・終了年度		
	事業の対象	誰が 誰に	市教育委員会 教育、文化、スポーツ及び青少年の健全育成において、顕著な功績や振興があったと認められる個人又は団体		事業の目的	本市の教育の振興及び発展に資することを目的とする。			
	事業の内容	毎年1回、文化の日に表彰を実施。			平成23年度 活動内容	表彰式 ・教育功労表彰 1名 ・教育振興表彰 17名			
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	表彰式		回	1	1	1	1	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)						
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	330		326		375	
事業費計	(A) (千円)	330		326		375			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・文化の日に表彰を実施	・文化の日に表彰を実施	・文化の日に表彰を実施

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	本市の教育・文化・スポーツの振興及び青少年の健全育成に寄与。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	市表彰と同一の日に表彰を行うことから、被表彰候補者の把握作業を早期に進める。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4103	事務事業名	一般事務	所管	部 課	教育文化部 教育総務課	
総合計画 施策名	2 生涯健康 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】 4 子育て支援の推進		重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務 ソフト事業 補助事業		
教育振興基本計画 施策名	1 子どもを産み育てやすい環境づくり						
行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度 事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律 幼稚園就園奨励費補助金交付要綱				
事業の対象	誰が 野々市市 誰 市内から私立幼稚園に通園する園児の保護者(幼 稚園就園奨励費補助金)	事業の目的	保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとと もに、公・私立幼稚園間における保護者負担の格差の 是正を図る。(幼稚園就園奨励費補助金)				
事業の内容	当該年度の市町村民税課税状況や世帯構成に 応じて、減免した保育料を私立幼稚園を通じて各保護者に 補助する。(幼稚園就園奨励費補助金) 市内幼稚園に対し、幼稚園割額及び市内在住の園児 数割額を補助する。(幼稚園運営費補助金)	平成23年度 活動内容	19法人25園の私立幼稚園、対象人数442人に対し保育料、 入園料の一部を補助した。(幼稚園就園奨励費補助金) 事業費総計 40,073,800円 国庫補助金 9,649,000円(圧縮率 72.23%) 市内2園に対し園割、市内園児数割の運営費補助を行った。 (幼稚園運営費補助金) 事業費総計 2,095,000円(2園市内園児219名)				
事業の 指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込
	成果指標	補助人数	人		447	442	457
事業の コスト	事業費 財源内訳	区分	H22		H23		H24予算
		国庫支出金 (千円)	8,884	9,649		6,500	
		県支出金 (千円)					
		地方債 (千円)					
		その他 (千円)					
		一般財源 (千円)	32,823	34,728		27,562	
事業費計 (A) (千円)	41,707	44,377		34,062			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>在園数調査</li> <li>要綱改正(国の補助要綱の改正によるもの)</li> <li>算定</li> <li>当初交付申請</li> <li>交付決定通知</li> <li>変更交付決定</li> <li>額の確定・実績報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在園数調査</li> <li>要綱改正(国の補助要綱の改正によるもの)</li> <li>算定</li> <li>当初交付申請</li> <li>交付決定通知</li> <li>変更交付決定</li> <li>額の確定・実績報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在園数調査</li> <li>要綱改正(国の補助要綱の改正によるもの)</li> <li>算定</li> <li>当初交付申請</li> <li>交付決定通知</li> <li>変更交付決定</li> <li>額の確定・実績報告</li> </ul>

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	国が基準額の引き上げや基準を拡大しており、また近隣の市町においても同様の補助を継続して行 なっており、今後も維持が必要。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	被災者対応等、弾力的な運用を行うとともに、制度の継続的な周知徹底に努めたい。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4105～4109	事務事業名	小学校管理事業(各小学校執行分)				所管	部 課	教育文化部 教育総務課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり				区分	内部管理事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
				事業開始		**		年度	
				終了予定		**		年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	教育基本法 学校教育法				
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 市立小学校5校		事業の目的	小学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。消耗品等の配備。				
事業の内容	学校施設を維持管理、運営するための需用費の支払等。			平成23年度 活動内容	学校校務員、司書等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない							
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)						
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	23,488		23,282		22,290	
事業費計	(A) (千円)	23,488		23,282		22,290			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学校校務員、司書等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員、司書等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員、司書等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	学校の管理運営上必要な業務であり、今後も維持継続が必要である。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	今後も適切な学校運営の為に必要な学校管理、物品の配備等を行う。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4110	事務事業名	野々市小学校整備事業				所管	部	教育文化部
							課	教育総務課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり				区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ハード・ソフト事業 補助事業		
	行政改革 推進項目	18 事務事業の外部委託の推進				事業の開始・終了年度			
						事業開始	平成16	年度	
					終了予定	平成37	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法						
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 野々市小学校施設・児童	事業の目的	老朽化した野々市小学校の改築をPFI手法で行い、民間事業者の技術や創意工夫を最大限活用することにより児童に対し充実した学校環境を提供し、また財政負担の軽減を図る。						
事業の内容	PFI手法により老朽化した野々市小学校の改築及びその後の15年間の維持管理も含めた業務を実施するもの。	平成23年度 活動内容	・小学校の維持管理業務の実施(月1回の定例維持管理会議の開催) ・施設整備費(割賦払い分)の支出 ・校舎及び屋内運動場の完成後1年点検の実施 ・維持管理モニタリング業務委託による事業者の業務内容の点検						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	数値指標の設定になじまない							
事業の コスト	事業費	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)	611,391						
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)	1,314,100						
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	153,707		76,117		76,418		
		事業費計 (A) (千円)	2,079,198		76,117		76,418		

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	事業契約に基づく維持管理業務の実施	事業契約に基づく維持管理業務の実施	事業契約に基づく維持管理業務の実施

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	H20.8.26締結の事業契約に基づき事業を実施するため
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	施設完成から2年経過しようとしており、今後は瑕疵対応とはならない修繕費用が発生することが予想されるため、市と学校、事業者が参加し毎月開催されている維持管理会議において、施設機能の保全のための日頃からの取り組みや点検方法等を確認していく必要がある。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4111	事務事業名	事務局小学校管理費(教育総務課分)				所管	部 課	教育文化部 教育総務課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり				区分	内部管理事務 ハード・ソフト事業 補助事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実							
	行政改革 推進項目					事業の開始・終了年度			
						事業開始	**	年度	
						終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法					
事業の対象	誰が 誰に	市 市立小学校施設、在籍児童、給食調理員	事業の目的	小学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。小学校の備品、消耗品の配備。安定的な給食提供の為に調理員の確保。					
事業の内容	小学校施設の修繕、改修工事、光熱水費等の支払。学校備品の配備。水質検査。室内空気環境測定。浄化槽検査。給食設備の点検・清掃。ボイラー施設の整備、検査。害虫・鳥獣の駆除。電気設備・消防設備・プール設備・エレベータの保守。施設用地の借上。日本スポーツ振興センター掛金の支払い及び給付。		平成23年度 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の修繕や改修工事</li> <li>水質検査</li> <li>給食設備の点検清掃</li> <li>ボイラー施設の整備、点検検査</li> <li>電気・消防・プール設備・エレベータの保守点検</li> <li>給食調理員の雇用他</li> </ul>					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	学校施設修繕・改修工事件数	件		26	30	30		
事業のコスト	事業内訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)	3,971	3,307					
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)	1,036	1,055					
		一般財源 (千円)	144,435	142,479		122,431			
事業費計 (A) (千円)	149,442	146,841		122,431					

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の修繕や改修工事</li> <li>水質検査・給食設備の点検清掃</li> <li>ボイラー施設の整備、点検検査</li> <li>電気・消防・プール設備・エレベータの保守点検</li> <li>給食調理員の雇用他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の修繕や改修工事</li> <li>水質検査・給食設備の点検清掃</li> <li>ボイラー施設の整備、点検検査</li> <li>電気・消防・プール設備・エレベータの保守点検</li> <li>給食調理員の雇用他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の修繕や改修工事</li> <li>水質検査</li> <li>ボイラー施設の整備、点検検査</li> <li>電気・消防・プール設備・エレベータの保守点検</li> </ul>

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	平成26年度中頃から小学校給食センターの供用がPFI事業により開始される予定であり、それに伴い給食調理員の市雇用経費がなくなるが、経年劣化による修繕や備品の更新が見込まれる。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	野々市小学校以外の学校は、建築後概ね30年以上経過した学校であり、大規模改造工事を終了した学校もあるが、今後大規模改造未実施の学校の改造やグラウンド改修、非構造部材の耐震診断、小規模修繕、備品等更新の増大が見込まれる。		



平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4112・4120	事務事業名	就学援助費(小中学校)			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実 1 確かな学力をはぐくむ教育の推進				区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1)「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
						事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	学校教育法第19条					
事業の対象	誰が 野々市市 誰 ①生活保護法に規定する要保護者②要保護者に 準ずる程度に困窮している保護者(準要保護者)		事業の目的	経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒 の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円 滑な実施を図るため。					
事業の内容	援助項目:学用品費、通学用品費(1年生除く)、新入 学用品費(新1年生のみ)、校外活動費、修学旅行費、 学校給食費。		平成23年度 活動内容	支給対象保護者への給付。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	支給決定児童生徒数		人		572	578	601	
事業の コスト	事業 内 財 源 内 訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)	79				55		
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	43,730		42,209		39,945		
事業費計 (A) (千円)	43,809		42,209		40,000				

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	義務教育の円滑な実施を図るため。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	今後も適切な支給決定を行い、必要な保護者に援助を行う。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4113・4121	事務事業名	特別支援教育就学奨励費(小中学校)				所管	部 課	教育文化部 教育総務課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実 1 確かな学力をはぐくむ教育の推進					区分	自治事務 ソフト事業 補助事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1)「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令						
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者	事業の目的	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため。					
事業の内容	援助品目:学用品費、通学用品費(1年生除く)、新入学用品費(新1年生のみ)、校外活動費、修学旅行費、学校給食費。		平成23年度 活動内容	支給対象保護者への給付。					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	支給決定児童生徒数	人		22	25	25		
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H22	H23	H24予算				
		国庫支出金 (千円)	278	310	263				
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	1,245	1,526	1,887				
事業費計 (A) (千円)	1,523	1,836	2,150						

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	義務教育の円滑な実施を図るため。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	今後も適切な支給決定を行い、必要な保護者に援助を行う。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4114	事務事業名	富陽小学校増築・大規模改造事業				所管	部	教育文化部
						課		教育総務課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり					区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実						ハード事業 補助事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
				事業開始		平成22	年度		
				終了予定		平成24	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	教育基本法 学校教育法					
事業の対象	誰が	野々市市		事業の目的	児童数増加に対する学校施設の確保及び、経年により通常発生する建物の損耗、機能低下に対する復旧措置に伴う大規模改造を行う。				
	誰に	富陽小学校施設・児童							
事業の内容	校区での児童数増加により、平成24年度において教室数の不足が見込まれたため、増築と大規模改造を併せて実施する。 平成22年度 実施設計 平成23年度～平成24年度 増築・大規模改造工事			平成23年度 活動内容	・増加児童数に対する学校施設の増築工事の実施 ・大規模改造工事の実施				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	学校施設の面積		m <sup>2</sup>	10,513	7,214	9,154	10,513	
事業の コスト	事業 内訳	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)				111,226		251,958	
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)				261,600		277,300	
		その他 (千円)						70,000	
		一般財源 (千円)	25,683			84,526		84,262	
		事業費計 (A) (千円)	25,683			457,352		683,520	

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	×		
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)			

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	学校管理運営上必要な業務であり、今年度(H24年度)での工事完了に向け維持継続が必要である。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	現状のまま継続する。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4115	事務事業名	小学校給食センター施設整備事業				所管	部 課	教育文化部 教育総務課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり						区分	自治事務 ハード・ソフト事業 補助事業
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実							
	行政改革 推進項目	17 学校給食のセンター化						事業の開始・終了年度	
				事業開始		平成22	年度		
				終了予定		平成41	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令					
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 児童		事業の目的		各小学校給食施設の老朽化と新しい衛生管理基準への対応のため、小学校給食調理場の一元化を行う。また、PFI手法により民間の資金、経営能力の活用を図り、良好な施設整備や事業コストの削減を図る。			
事業の内容	小学校の給食センターの建設及び既存給食センターを含めた給食提供の運営及び施設の維持管理の業務をPFI手法により一体的に事業契約を行い実施するもの。			平成23年度 活動内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFIアドバイザー業務契約締結</li> <li>・PFI事業者募集に係る実施方針、要求水準書及び入札説明書等の公表、事業現場見学会及び入札説明会の開催</li> <li>・事業者選定委員会の開催</li> </ul>			
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	新給食センター施設整備面積(推計)		m <sup>2</sup>	1,804	該当なし	該当なし	該当なし	
VFM(Value For Money)			0.2	該当なし	0.2	0.2			
事業の コスト	事業 内訳	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)						
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	1,931		14,320		9,110	
事業費計 (A) (千円)		1,931		14,320		9,110			

B 実施計画

年度 計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存給食センター運営・維持管理業務開始</li> <li>・新給食センター設計・建設モニタリング業務実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新給食センター建設完了</li> <li>・新給食センター運営・維持管理開始(H26の2学期より)</li> <li>・既存給食センター運営・維持管理実施</li> <li>・各小学校改修完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存給食センター、新給食センター運営・維持管理業務実施</li> </ul>

C 自己評価

自己 評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	H24年度に締結予定である事業契約書に基づき、引き続き事業を実施するため。
	C			
改善 点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	近隣住民への騒音対策や完成後の臭気対策等の十分な説明を行い事業への理解と協力を求めていく。また、配送校の改修工事については、児童の安全性を確保し、学校運営に支障がないように工事を進めていく必要がある。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4116	事務事業名	給食センター運営事業(小学校)			所管	部	教育文化部
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり				区分	内部管理事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ソフト事業 単独事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	平成22	年度
						終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校給食法第9条、学校給食衛生管理基準				
事業の対象	誰が 野々市市 誰に 野々市小学校在籍児童	事業の目的	野々市小学校への栄養豊富で衛生的な給食の提供。 野々市小学校への給食提供のための消耗品、備品の 配備。					
事業の内容	1日約600食の給食提供。	平成23年度 活動内容	給食調理に係る消耗品の購入。					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業の コスト	事業 内 訳	区分	H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	8,194	950	700			
事業費計 (A) (千円)	8,194	950	700					

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	栄養管理並びに衛生管理の徹底 された給食を提供する。	栄養管理並びに衛生管理の徹底 された給食を提供する。	栄養管理並びに衛生管理の徹底 された給食を提供する。

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	安全・安心の学校給食を提供するうえで必要な業務であり、また、児童の心身の健全な発達に資するため継続するものである。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	今後も安全・安心な学校給食提供の為に施設の管理・点検・物品購入を行う。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4117・4118	事務事業名	中学校管理事業(各中学校執行分)				所管	部 課	教育文化部 教育総務課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり					区分	内部管理事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法					
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 市立中学校2校	事業の目的	中学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。消耗品等の配備。						
事業の内容	学校施設を維持管理、運営するための需用費の支払等。	平成23年度 活動内容	学校校務員、司書等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	数値指標の設定になじまない							
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	9,887		10,636		9,506		
事業費計 (A) (千円)	9,887		10,636		9,506				

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学校校務員、司書等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員、司書等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員、司書等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	学校の管理運営上必要な業務であり、今後も維持継続が必要である。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	今後も適切な学校運営の為に必要な学校管理、物品の配備等を行う。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4119	事務事業名	事務局中学校管理費(教育総務課分)			所管	部	教育文化部
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり				区分	内部管理事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ハード・ソフト事業 単独事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法					
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 市立中学校施設、生徒	事業の目的	中学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。中学校の備品、消耗品の配備。					
事業の内容	中学校施設の修繕、改修工事、光熱水費等の支払。学校備品の配備。水質検査。室内空気環境測定。浄化槽検査。ボイラー施設の整備、検査。害虫・鳥獣の駆除。電気設備・消防設備・プール設備・エレベータの保守。施設用地の借上。日本スポーツ振興センター掛金の支払い及び給付。		平成23年度 活動内容	・施設の修繕や改修工事 ・水質検査 ・ボイラー施設の整備、点検検査 ・電気・消防・プール設備・エレベータの保守点検 ・その他管理事務				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	学校施設修繕・改修工事件数	件		16	8	8	
事業の コスト	事業費	区分	H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)	445		473			
		一般財源 (千円)	76,419		32,783		31,106	
事業費計 (A) (千円)	76,864		33,256		31,106			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)		・施設の修繕や改修工事 ・水質検査 ・ボイラー施設の整備、点検検査 ・電気・消防・プール設備・エレベータの保守点検 ・その他管理事務	・施設の修繕や改修工事 ・水質検査 ・ボイラー施設の整備、点検検査 ・電気・消防・プール設備・エレベータの保守点検 ・その他管理事務	・施設の修繕や改修工事 ・水質検査 ・ボイラー施設の整備、点検検査 ・電気・消防・プール設備・エレベータの保守点検 ・その他管理事務

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	学校の健全な維持管理上必要な業務。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	2中学校とも建築後概ね30年以上経過しており、非構造部材の耐震診断や経年劣化による修繕及び備品の更新が必要である。また、区画整理事業等による生徒増も見込まれ、それに対応した消耗品・備品等が必要である。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4122	事務事業名	給食センター運営事業(中学校)			所管	部 課	教育文化部 教育総務課		
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり					区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実						ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし						単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校給食法第9条、学校給食衛生管理基準			事業の開始・終了年度			
	事業の対象	誰が 誰に	野々市市 野々市中学校、布水中学校在籍生徒。給食センター施設。	事業の目的	市内中学校生徒への栄養豊富で衛生的な給食の提供。施設の運営、管理。給食提供のための消耗品、備品の配備。			事業開始 終了予定	平成15 **	年度 年度
	事業の内容	学校給食衛生管理基準のもと衛生管理の徹底に努め食中毒を防止し、1日約1,300食の給食を提供する。		平成23年度 活動内容	給食の調理及び提供 給食センター施設の修繕・改修工事 貯水槽清掃。給食設備の点検・清掃 職員及び施設の細菌検査 電気設備・消防設備・エレベータの保守点検 その他水質検査等一般管理					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	数値指標の設定になじまない								
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分		H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)		65,934		75,363		70,800		
事業費計 (A) (千円)		65,934		75,363		70,800				

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	栄養管理並びに衛生管理の徹底された給食を提供する。また、経年による修繕箇所もあり、計画的な維持修繕に努める。	PFI事業による事業者との事業契約の予定	PFI事業による事業者との事業契約の予定	

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	安全・安心の学校給食を提供するうえで必要な業務であり、また、生徒の心身の健全な発達に資するため継続するものである。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	今後も安全・安心な学校給食提供の為に施設の管理・点検・物品購入を行う。		



## ・(1-2) 学識経験者からの意見

学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごし、人生の基礎である知・徳・体を学ぶ重要な場所であり、耐震性などの安全が確保されていることはもちろんのこと優れた教育環境を提供することが必要です。

野々市市においては、区画整理事業等により人口の増加が顕著な地域もみられ、当該地域の一つにある富陽小学校では、今後の児童の増加も見越した校舎の増築等工事を適切に実施しており評価できます。また、夏季の高温時に備えた空調設備設置も順次実施しており、教育環境の充実に努められていることは評価できます。

今後、児童生徒の健康管理の上からも空調設備が未設置である小中学校の解消を図るとともに、老朽化が進んでいる学校の大規模改修工事や、今般、国が推進しております非構造部材の耐震化を計画的に実施されるようお願いいたします。

なお、野々市小学校についてはPFI手法により建設し、既に維持管理業務が実施されていますが、毎月の定例維持管理会議においては施設が長期的に渡って良好に保たれるよう保全・管理について十分点検されるよう望みます。

学校給食については、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培うものであり、今後も栄養豊富で衛生的な給食の提供に努めてもらいたいと思います。

また、野々市小学校を除く、小学校における給食室の老朽化と新たな衛生管理基準への対応の為、民間企業のノウハウを活用できるPFI手法により給食センターを整備する事業計画が進んでいます。児童へ安全でおいしい給食を提供することを第一に考え、遺漏なく実施するようお願いいたします。さらに、運営にあたっては地産地消の推進や食育活動の積極的な取り組みを望みます。

就学援助並びに幼稚園就園援助については、その制度の目的と役割を十分に周知し、事業を実施するようお願いいたします。

## ・(1-3) 今後の方針

① 学校施設の大規模改修工事については、未改修の館野小学校、布水中学校について順次実施していくとともに、空調設備が未設置の学校についても計画的に設置を進めていきます。また、市内の児童生徒数の今後の推移を想定し、教室等が不足する学校においては増築等についても検討していきます。

さらに、非構造部材の耐震化についても現状を検証し対応していきます。

② 学校給食については、子どもたちが給食に楽しみが持てるとともに食の重要性について考えるよう学校栄養教諭等による食育の充実にさらに進めていきます。

また、地元産の食材を通じて地域の自然や文化、産業に関する理解を深め、生産者と交流することにより、作物を育てることの難しさや喜びを子ども達に伝え、食への感謝の気持ちを育みます。

③ 小学校給食センターの施設整備にあたっては、平成26年の開設に向けて着実に業務を進めるとともに、民間の持つ知識・技術・能力等の活用を最大限図れるよう努めていきます。また、地産地消並びに給食センターにおける食育活動の推進を図るよう取り組んでいきます。

④ 幼稚園就園奨励費については、小中学校の児童生徒の保護者に対する就学援助制度と同様に子どもたちが安心して十分な教育を受けることができるための大切な制度と考えており、今後もその内容について幼稚園と連携し保護者への周知の徹底を図り適切に実施していきます。